

## 新潟インキュベーションファンド1号 追加投資決定 ～株式会社UniBio～

新潟ベンチャーキャピタル(株)(代表取締役:永瀬 俊彦)は、株式会社UniBio(農植物バイオ技術による細胞増殖因子群の開発・製造)(注1)について、新潟インキュベーションファンド1号(注2)の追加投資先とすることを決定した。この決定に基づき、平成27年12月10日に5,000万円の出資を行った。

### <投資決定のポイント>

株式会社UniBioは植物バイオ技術である一過性遺伝子発現技術に注目し、この技術を応用して独自の技術開発・製品実用化を目指しており、2012年世界で初めて植物において上皮細胞増殖因子(EGF)発現に成功、またEGF試作品の活性も確認している。

既存技術である形質転換技術(いわゆる遺伝子組換え)とは全く異なり、植物の光合成機能を使用し、植物葉内に一時的に有用タンパク質を安全・短期間で発現(生産)させるものである。

市場は未だ大腸菌由来製品が主であり、植物利用型製品は現在そのほとんどが研究開発段階である。当社は既に独自EGF発現カセット(転移因子)を開発しており、これを用いて世界初の植物由来EGFを実用化するという独創性を持っている。つまり、“Green(植物) is Clean(安全)”と言える技術であり、この技術を基に、様々な有用タンパク質(細胞増殖因子や抗体医薬、ワクチン等)を研究開発・実用化することを目指している。

スキンケア製品市場におけるアンチエイジング用EGFを販売することで収益基盤を安定させ、次段階として再生医療周辺産業における再生医療用培地としてのEGFを販売し、更なる事業の拡大を目指す戦略を立てている。

今後の事業進捗が期待される段階に到達したと判断し、追加投資するものである。

### (注1) 株式会社UniBioの概要

- 所在地 : 新潟県新潟市西蒲区新飯田潟88
- 設立 : 平成23年3月11日
- 役員 : 代表取締役 結城 洋司  
取締役 佐藤 征也  
取締役 佐藤 弘子
- 資本金 : 92,500千円(資本準備金62,500千円) ※本件投資後
- URL : <http://unibio-jp.com/>

(注2) 新潟インキュベーションファンド1号の概要

- ファンドの名称 : 新潟インキュベーションファンド1号投資事業有限責任組合
- 無限責任組合員 : 新潟ベンチャーキャピタル株式会社
- 投資対象 : 原則、新潟県内に本店を置くアーリーステージのベンチャー企業。ただし、県外本店企業でも、県内経済に大きな影響を有する企業に対しては、投資を検討する。
- 根拠法規 : 投資事業有限責任組合法
- ファンド総額 : 6億2,200万円
- 運用期間 : 平成22年7月から平成32年6月までの期間。ただし、無限責任組合員、有限責任組合員双方の同意により2年延長可能。

【お問い合わせ先】 新潟ベンチャーキャピタル株式会社  
代表取締役 永瀬 俊彦  
TEL/FAX: 025-250-6306